

## 地域の経済動向（令和5年1～3月期）

### 《オホーツク地域》

#### 1 経済動向に係る企業等の声（1～3月期）

##### 【建設業】

- ・ 地域に根ざして従業員の雇用改善や季節労働者の通年雇用化に向け、長年取り組んできた。働きやすい職場環境の創出にも努めてきたが、人材不足のため思うような雇い入れが出来ていない。（建設業）
- ・ ハローワークにかなり以前から求人を出しているが、面接に来る方が全くいない状況で、悩んでいる。さらに、職場の人間関係が原因で退職する方が重なり、今後、業務がうまく回っていくかどうか大変厳しい。（建設業）
- ・ 大工が不足している。人材不足は、長らく言われてきているが全く改善されない。新規採用をするにも週休2日制のところではつまずいてしまう。業界全体で取り組まなければならないと思う。（建設業）

##### 【製造業】

- ・ かまぼこの主原料である魚のすり身や油、加熱に必要な灯油など、価格の高騰によって、月何十万もの増額となり痛手を負っている。また、年末年始に引き合いの多くなる食材であるが、おせちからオードブルに切り替える家庭も増えてきており、利益の見込める年末年始においても昔ほど練り物が売れないため、厳しい状況が続いている。（食品加工業）
- ・ コロナ以前と比較し売上の9割程度が回復してきているが、頭打ちといった状況。このような中で輸送費や資材の高騰をはじめ、ほぼ全てのものに関するコストが増加しており、今後の対応に頭を悩ませている。（製造業）
- ・ 燃油高騰による配送料の値上がりで打撃を受けているものの、特に特産品であるチーズは元々安い商品ではないため、これ以上の価格転嫁は困難であり経営が厳しい状況となっている。来年度以降、やむなく値上げを検討しているものの、不安が拭えない。（食品加工業）
- ・ 建物と設備の老朽化が進んでいる中、製造に必要な機材も年々高くなっており、中古機材も出回っていないため、更新に踏み切れない現状にある。そのため、製造能力の大きな工場に他地域の工場を統合するか、リスク分散のため現状維持とするか、議論を重ねている状況。（食品加工業）
- ・ 常時ハローワークに求人を出しており、毎年、新規学卒者を1～2名程度採用できている。一方で従業員の高齢化が進んでおり、製造技術の継承など問題を抱えている。（製造業）

##### 【卸売・小売業】

- ・ 原材料高騰などの影響を踏まえた価格転嫁について商店街各店舗で取り組んでいるものの、年金暮らしの高齢者などの利用が多数を占めるため、上げ幅は最小にとどめている店舗が多い状況。（商店街）
- ・ 価格転嫁の状況は、中小企業では6割程度、小規模事業者になると4割も出来ていない状況。年末年始の大雪により交通関係が麻痺したため、流通や仕入関係での影響を受けたという相談もあった。（商工会議所）
- ・ インボイス制度に向けて準備をしているのは、商店街の中でも3割程度。高齢の経営者が多く、難しそうというイメージが先行し、なかなか手が付けられないという話が出ている。（商店街）
- ・ タブレットなどのIT機器等の導入について、少額の支援などがあると活用しやすいとの声を多く頂いている。（商工会議所）
- ・ 人材不足が顕著で、特に建設と加工関係で人手不足が深刻化している。相談も多く寄せられ改善策など色々と提案するものの、直接的な解消に結びつくことが難しい状況にある。（商工会議所）

##### 【運輸業】

- ・ とにかく募集をかけても人が来ない。特に、自動車整備士の不足は深刻な状況になっている。（運輸サービス業）

##### 【サービス業】

- ・ コロナ前の売上と比較して6割程度の状況。最近インバウンドが戻りつつあるものの、新千歳空港付近や札幌圏に留まる人が多いようで、流氷が未だ来ていないため、オホーツクまで足を伸ばす観光客はまだまだ少ないことを実感している。（観光業）
- ・ 来期からゼロゼロの返済が始まるため、今後の収支回復や資金繰りに不安を感じている。（観光業）
- ・ 外国人旅行者減少の影響により、道の駅に併設しているアンテナショップでは売上が1割程度減少している。ただし、個人利用客が多いことやECサイト、ふるさと納税などの取り組みにより、大きな落ち込

みにはなっていない。一方、空港に併設しているアンテナショップでは、空港利用者の落ち込みにより、売上が2割以上減少している状況にある。(サービス業)

**【全体】**

- ・ 役所や漁協など自治体の主な団体において忘新年会は自粛ムードであるため、飲食店は、ランチ営業にシフトするなどして何とか売上を維持している。(商工会議所)
- ・ インボイス制度に関する説明会を数回実施しているが、制度の動向が見えず、事業者からはどう動くべきか迷っているとの相談がある状況。(商工会議所・商工会)
- ・ 政策金融公庫とタイアップし年末の金融相談を実施しているが、駆け込み的な相談は減少している。ゼロ融資の返済で経営難という話も聞こえてはいない。ホタテと秋サケの漁獲が好調。ふるさと納税での引き合いも多い。  
一方、加工場の人手不足により、漁協等からの受注に対応しきれず苦慮している状況にある。(商工会議所)
- ・ どの業種においても、経費が上がっていることに加え、特に人材不足に関して厳しいという状況を聞いている。例えば、自動車整備関係や測量設計コンサルなどの事業者からは、技術職員の高齢化に伴い、人材確保は元より技術継承に関して将来的な不安があると、業界全体で、一律に問題視されている状況にある。(商工会議所)

## 2 道内金融機関から見た地域景況感 (1～3月期)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調	好調	やや好調	普通	やや低調	低調	非常に低調
						

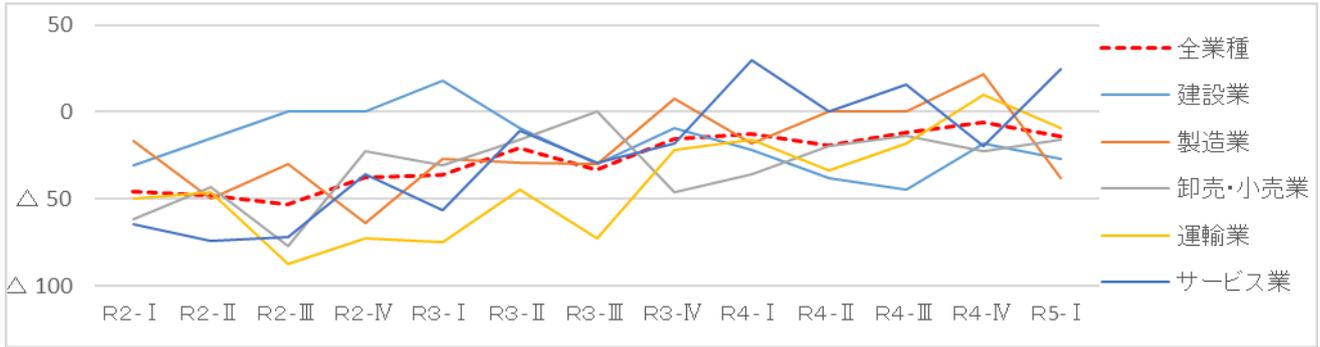
## 【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産 動向	消費 動向	判断理由	方向感	判断理由
網走信用金庫				当金庫で行った業況調査の結果、前回調査と比較し製造業・建設業の業況判断 DI が悪化しており、生産動向を「低調」とした。一方サービス業の DI が横ばい、卸売・小売業の DI に改善が見られるため、消費動向を「やや低調」とし、総合を「やや低調」と判断した。		次期の業況見通しについて、建設業、サービス業の DI がマイナス、製造業、卸売・小売業の DI がプラスであり、次期の景況見通しは「変わらない」と判断した。
遠軽信用金庫				遠軽地方の生産動向の景況感については、前年同期と比較すると、製造業以外の業種で収益が減少し、厳しい状況が続いていることから、「やや低調」(前回調査時: やや低調)と判断した。消費動向の景況感については、前回調査時と比較し、建設業については変化がないものの、その他の業種で業況判断 DI が悪化し、厳しい状況が続いていることから、「やや低調」(前回調査時: やや低調)と判断した。生産動向及び消費動向共に、物価高騰等の影響により依然として厳しい状況が続いていることから、総合的な景況感は、前回調査時同様の「やや低調」と判断した。		次期の景況見通しについては、物価高騰等の影響により、多くの企業が先行き不透明で、業況の回復に時間を要すると思われることから、「変わらない」と判断した。
北見信用金庫 (北見地区)				当金庫の景況動向調査によると、前年同期と比較した売上 DI は△8となり、収益 DI は△18となった。前回調査から売上 DI は1ポイント、収益 DI は3ポイント改善し、景況感は「普通」とした。		当金庫の景況動向調査によると、次期見通しでは売上 DI、収益 DI ともに改善する見通しとなっており、「上昇傾向」とした。
北見信用金庫 (紋別地区)				基幹産業である水産関連企業が閑散期である為、水産加工業を中心に生産動向は低調に推移している。主力魚種であるホタテについてはシーズンを通して好調であった為、漁業者への配当金は高額で推移。また、流氷接岸による観光客については海外からの観光客も一部戻っており、コロナ禍前には戻らないまでも消費動向は「普通」とし、経済活動の復調の兆しが見えていることから総合的に「普通」とした。		春先よりホタテ漁が開始となり、水産関連企業が稼働することから生産動向は上向きとなる。建設関連で消防庁舎、看護学院等の公共工事が活発化することから、総合的に「上昇傾向」と判断した。

【景況感の推移】

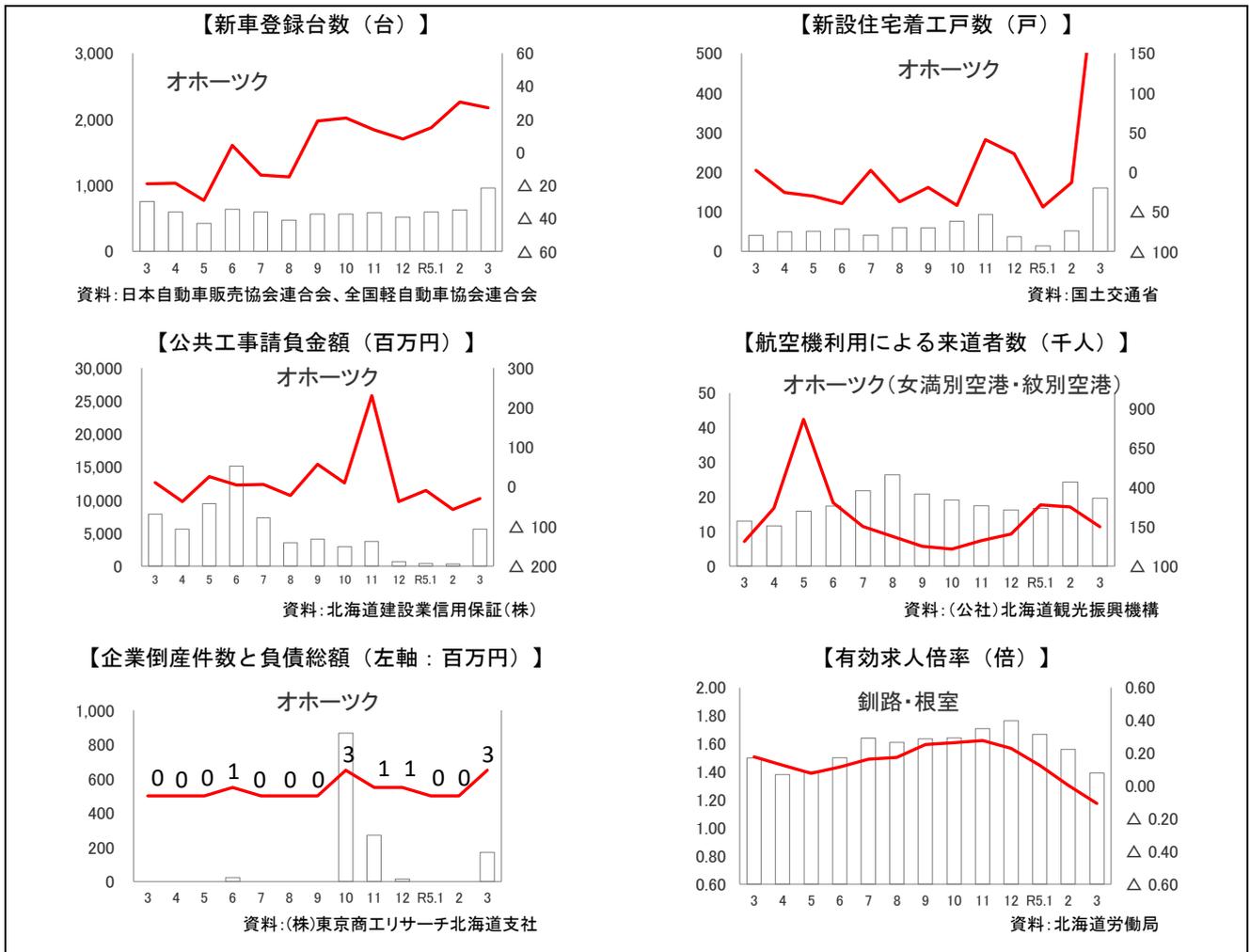
	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III	R4-IV	R5-I
網走信用金庫								
遠軽信用金庫								
北見信用金庫 (北見地区)								
北見信用金庫 (紋別地区)								

### 3 業種別の業況感BSI (企業経営者意識調査)



	R2-I	R2-II	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III	R4-IV	R5-I
全業種	△ 46	△ 48	△ 53	△ 38	△ 36	△ 21	△ 33	△ 16	△ 13	△ 19	△ 12	△ 6	△ 14
建設業	△ 31	△ 15	0	0	18	△ 9	△ 30	△ 9	△ 22	△ 38	△ 45	△ 18	△ 27
製造業	△ 17	△ 50	△ 30	△ 64	△ 27	△ 29	△ 30	8	△ 18	0	0	22	△ 38
卸売・小売業	△ 62	△ 43	△ 77	△ 23	△ 31	△ 16	0	△ 46	△ 36	△ 20	△ 14	△ 23	△ 16
運輸業	△ 50	△ 46	△ 88	△ 73	△ 75	△ 45	△ 73	△ 22	△ 16	△ 34	△ 18	10	△ 9
サービス業	△ 65	△ 74	△ 72	△ 36	△ 57	△ 11	△ 29	△ 18	30	0	16	△ 20	25

### 4 各種経済指標



(右軸：来道者数のみ前々年同月比、その他は前年同月比(差)：%)